

当院における鼠径ヘルニア嵌頓症例の治療成績

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、第124回日本外科学会定期学術集会にて医学研究として発表いたします。対象となる患者さんでご自身の診療情報の研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

研究期間：2011年1月～倫理委員会承認日～2025年3月31日

【研究の目的・意義】

鼠径部ヘルニアの嵌頓症例はしばしば遭遇し、用手整復を試み、成功しない場合は手術治療を要することになります。長時間嵌頓していると脱出している腸管が壊死してしまい、穿孔などを起こしてしまいます。術式に関しては、議論のあるところですが、今回、鼠径部のヘルニア嵌頓、緊急手術を要した患者さんの治療成績について、すでに確認された情報を用いて検討したいと考えています。追加での採血や画像検査等はありません。

【対象となる方】

2017年1月から2023年8月までにヘルニア嵌頓にて来院され、緊急手術を要した患者さんを対象とします。

【研究機関名及び研究責任者（情報の管理について責任を有する者）】

りんくう総合医療センター 消化器外科 東 重慶

【調査項目】

患者背景、ヘルニア分類、術後成績

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんのでご安心ください。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

りんくう総合医療センター 消化器外科 東 重慶

泉佐野市りんくう往来北2-23 電話：072-469-3111 FAX：072-469-7929